

『大学月額奨学金』『多子世帯向け奨学金』貸与申込書

令和 8年 5月 日

公益財団法人秋田県育英会 理事長 様

下記のとおり記載事項に相違ありません。貴会の奨学金の貸与に、関係書類を添え連帯保証人と連署をして申し込みいたします。

※太線内を記入すること。

フリガナ	※男・女	生年月日
本人氏名 (必ず自署してください)		平成 年 月 日

◇希望する奨学金◇

※希望する奨学金に○	併願可	大学月額奨学金	どちらの奨学金の応募資格も満たす場合は、併願が可能です。併願する場合は、両方の奨学金に○をしてください。ただし、採用になるのはいずれか一方となります。
		多子世帯向け奨学金	

現住所(住民票を移していない場合も実際に住んでいる場所の住所を記入) 〒 -	電話番号 - -
---	-------------

※の箇所は該当するものに○をすること。

フリガナ	※男・女	生年月日
連帯保証人氏名 (父母等・自署) (続柄:本人の)		※昭和・平成 年 月 日

住所 〒 -	電話番号 - -
--------	-------------

单身赴任等の場合は、書類等の送付を希望する住所をお書きください

日中の連絡先(必ず記入してください) ※ 携帯・職場・その他()
- - ※ 父・母・その他()

在学学校	大学 (自宅・自宅外)	学部(短大の場合学科)
------	----------------	-------------

国立私立の別	※国公立・私立	修業年数	※ 6年制 ・ 5年制 ・ 4年制 ・ 3年制 ・ 2年制
		在学期間	令和8年4月から () 年3月まで 在学予定

出身校	小学校卒業	高等学校卒業
	中学校卒業	(高卒認定の方は○をしてください) 高卒認定

家庭状況	【生活状況その他特別な事情等がある場合に記入してください(任意)】
------	-----------------------------------

本人と連帯保証人は各自自署してください。鉛筆、消せるペン、修正液等は使用しないでください。

家族調書

同 一 生 計 の 家 族	申込者	続柄	氏名	年齢	職業 (会社名及び自営の方はその旨)		収入金額 万円	所得金額 万円	
		本人				通学別 (自宅・自宅外)	兄弟数 (家族調書に書かない兄弟も含む) __人兄弟姉妹の__番目		
就学者を除く家族	父				※当てはまる場合いずれかに○ R7年1月～現在まで(就職・転職・開業・退職)した 就職・転職・開業した場合→別紙1を添付 退職した場合→退職日が分かる書類を添付				
	母				※当てはまる場合いずれかに○ R7年1月～現在まで(就職・転職・開業・退職)した 就職・転職・開業した場合→別紙1を添付 退職した場合→退職日が分かる書類を添付				
							父母の 所得金額合計		
欄が足りない場合は、一行に2名記入する等、全員分をご記入ください。									
就学者 (本人を除く)	続柄	氏名	※設置者	※通学別	※就学者控除				
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学				
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学				
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学				
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学				
所得から差し引かれる項目	本人の就学者控除								
	母子・父子世帯 → 当てはまる場合は上の「父」又は「母」欄を空欄としてください。								
	障害のある人がいる世帯 ※はい の場合は障害者手帳の写しを添付			※必ずどちらかに○ ※(はい・いいえ)					
	両親のいずれかが単身赴任している世帯 ※はい の場合は家賃が分かる書類等を添付			※必ずどちらかに○ ※(はい・いいえ)					
	長期療養中で医療費控除を申告している人のいる世帯 ※はい の場合は確定申告書控え(医療費控除の明細書)の写しを添付			※必ずどちらかに○ ※(はい・いいえ)					
	火災、風水害、盗難等の被害を受けた世帯 ※はい の場合は火災証明書等と令和7年中の被害額が分かる書類の写しを添付			※必ずどちらかに○ ※(はい・いいえ)					
控除額の合計									

※太線内を記入すること。

※の箇所は該当するものに○をすること。

以下の欄には記入しないでください。

所得金額	万円	就学者等 特別控除額	万円	認定所得額	万円
世帯人員別収入基準額		人		成績	